

II 審議の対象とした番組

日本テレビ放送網株式会社（以下、「日本テレビ」という）は2012年5月4日19時から2時間枠のバラエティー番組「芸能★BANG ザ・ゴールデン」（以下、「本件放送」という）を放送した。これは、週1回の深夜帯に「芸能情報をバラエティー手法で取り上げる新感覚芸能ゴシップ番組」をコンセプトに放送してきた番組を、大型連休中のゴールデンタイムに持ってくるという、担当の制作者にとっては大抜擢の編成であった。

日本テレビは新聞各社のラテ欄（番組表）に提供した番組情報において、その内容を次のように告知していた。

《緊急放送！芸能バン占い離婚渦中のアノ人記者軍団と激突SP!!①今夜ついにスタジオへ…オセロ中島騒動の占い師が謎の同居生活全貌激白②極悪拝み屋に5億円欺き取られた大物H…（以下、略）》

本件放送の最大の目玉は、この告知が冒頭に掲げていたように、この時期、芸能分野のニュースで大きな話題となっていた「オセロ中島騒動」だった。

オセロ中島は、女性2人のお笑いコンビ「オセロ」の一方の通称だが、最近では体調不良、レギュラー番組の降板、自宅や個人事務所の家賃滞納などが伝えられてきた。しかし、彼女がIという女性霊能者（以下、「I占い師」という）と同居中で、マインドコントロールを受けている等と報じた週刊誌報道をきっかけに再び注目が集まり、「2012年上半期、芸能界を一番騒がせ、話題となった」（本件放送前半にあるナレーション）。

*

ラテ欄の告知によれば、本件放送は、オセロ中島と同居していたI占い師が初めてスタジオ出演し、謎に包まれていた同居生活の全貌を語る、というものだった。少なくともこれを見た視聴者が、そう受け取ってもおかしくない事前告知が行われていた。

番組は、司会陣のほかに、タレント、芸能人、芸能ジャーナリストらのトークに事前編集のVTRをまじえて進行していくが、番組冒頭のナレーションも「今夜ついにスタジオへ。オセロ中島騒動の占い師が謎の同居生活全貌を激白」とセンセーショナルに盛り上げ、別の話題がつづく前半の画面にも同趣旨のサイドスーパーが表示されつづけていた。

番組が始まっておよそ44分後、CMまたぎのナレーションが「このあと、オセロ中島騒動、同居占い師がついに登場。衝撃の告白に、スタジオ騒然」と煽り、出演者のひとりが「占い師に対してはね」と語るQショットが流れる。その後、15秒間ずつ6本のCMが放送されたあと、再びナレーションが「オセロ中島騒動の占い師がついにスタジオに。衝撃の告白」と繰り返した。時刻はそろそろ夜8時、視聴者のザッ

ピングが増加し始める時間帯だった。そこに山場を持ってくるのは、いま見ている視聴者を逃がさず、他局の番組を見ていた視聴者を引き寄せる常套的手段である。

だが、番組開始約47分後、スタジオに現われたのは、騒動の渦中で注目を集めていたI占い師ではなく、S（本件放送では実名）という女性占い師だった（以下、「S占い師」という）。司会役の女性タレントの説明によれば、S占い師とは、「中島さんとの共同生活、同居生活で騒動となった、自称占い師のIさん。そのIさんと、Iさんが中島さんといっしょに住まわれる前に、いっしょにIさんと住んでいらっしゃった方」である。

その後、S占い師とスタジオ出演者とのやりとりが十数分間にわたって繰り返され、サイドスーパーには「今明かされる衝撃の事実」「謎の同居生活…全ぼうを激白」等々と表示されるが、どれもS占い師宅にかつてI占い師が居候していた際の見聞や体験の話であって、ラテ欄の告知やナレーションやサイドスーパー等が、オセロ中島と同居していたI占い師がスタジオに初出演し、オセロ中島との謎の同居生活について激白する、と繰り返し煽った内容とはおよそ似て非なる内容だった。

結局、I占い師は最後まで登場しなかった。